

2027 年度 奨学金の申込みについて（本学大学院入学予定者向け）

はじめに

『奨学金』とは、経済的理由で修学が困難な学生に学費や生活費を給付または貸与する制度。
（本学学生の約半数が何らかの奨学金の利用し、学生生活を送っています。）

本学ホームページ（奨学金情報掲載ページ）

https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/ad_scholarship/



▼奨学金に関する用語の説明

- ・貸与奨学金…将来返す必要のある「借りる」奨学金
- ・給付奨学金…将来返す必要のない「もらう」奨学金
- ・返還…借りた奨学金を返すこと。返済という場合もあります
- ・併用…二つ以上の奨学金を借用または受給すること
- ・利子…借主が貸主へ支払う対価のこと
- ・無利子…利子が付かないこと
- ・有利子…利子が付くこと（在学中は無利息、貸与終了後に利息が発生します）

▼申込み～採用までの流れ

奨学金を申込みの場合、一般的な流れは以下の通りです。

募集 → 申請書類提出・ネット入力等 → 選考 → 選考結果通知 → 奨学金振込み …

[奨学金に関する注意事項]

- ◆奨学金の申込みは期限厳守です。スケジュールをよく確認してください。
- ◆募集先が提示している応募要件を満たしているか確認してください。
- ◆募集先が提示している基準（学力・家計など）を満たしているか確認してください。
- ◆奨学金を申込み、貸与・給付を受けるのは学生本人です。
- ◆貸与型奨学金を利用する場合、返還義務は学生本人にあります。申込みの際は、家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、返還時の負担などを十分考慮し、適切な金額を選んで申込んでください。
- ◆書類に不備がある場合、申込みできないことがあります。不備がないよう、提出前によく確認してください。
- ◆確認事項がある場合、学生課から電話することがあります。学生課からは 022-727~の番号で電話をかけますので、着信があった場合は必ずかけ直してください。
- ◆重要なお知らせは公式メール（学籍番号アドレス）に連絡しますので、1日1回必ず確認してください。
- ◆複数の奨学金を同時に申込んだり（併願）、同時に利用したり（併用）することができる場合があります。申込みようとしている奨学金が併願・併用が可能かどうか確認してみてください。

[個人情報の利用目的]

申込者の個人情報については、奨学生選考及び奨学金に関する連絡（関係先（部署）への紹介や調査等を含む）を行うために利用します。

学生課 奨学金担当（小松島キャンパス 中央棟 1 階事務室）
〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島 4-4-1
TEL:022-234-4181（代表）
E-mail:shogakukin@tohoku-mpu.ac.jp
※平日 8:30～17:15（土日祝除く）

本学の大学院へ進学予定の方を対象に、次の奨学金を募集します。申込みたい場合には所定の手続きを行ってください。なお、他大学の大学院へ進学を予定している方は申込みできません。奨学金を申込みたい場合は、進学予定先へお問い合わせください。

日本学生支援機構貸与型奨学金

(1) 奨学金概要および案内等

申込みの際は、奨学金案内をよくご確認のうえ、お手続きください。

- ・ [概要](#)
- ・ [\[大学院\] 奨学金案内\(第一種・授業料後払い・第二種・入学時特別増額貸与\)](#) 
- ・ [\[大学院\] 奨学金案内ダイジェスト・スカラネット入力下書き用紙](#) 

(2) 募集期間

2026年9月24日(木)～2026年11月10日(火)

(3) 申込方法

以下①②の手続きを募集期間内に行ってください(どちらか一方では申込みしたことにはなりません)。

①申込フォームの入力

▼ 本学に在学している学生(moodle)

「学生生活関係」→「奨学金申込フォーム」→「2027年度予約採用募集」の申込フォームを入力。

<https://moodle2.tohoku-mpu.ac.jp/moodle/course/view.php?id=3470>



▼ 他大学等から本学大学院へ進学する方(forms)

<https://forms.cloud.microsoft/r/GtWUa48K9E>



②必要書類の提出

下表記載の書類を募集期間内に学生課へ提出(窓口もしくは郵送(送料自己負担))。

※書類の提出確認後に次の手続き(スカラネット入力等)について、ご案内いたします。

※※スカラネット入力後に提出する「奨学金確認書兼地方税同意書」では学生本人の身元確認書類の提出が求められますので、「[身元確認書類一覧](#)」を確認し、あらかじめご準備ください。

提出書類		備考
1	成績証明書	現時点で準備できるものを提出。
2	【授業料後払い申込者のみ】 学費延納願 	A4 片面印刷
3	【該当者のみ】証明書類	該当しているかは 奨学金案内  P.25「 3 必要書類と提出先の確認」項目 3～6 を確認。該当者は必要書類を提出。

(4) 注意事項

・進学後に所定の手続きを行わないと正式な採用とはなりません。

・大学院修士段階における授業料後払い制度について、採用が決定する前に大学へ振り込んだ授業料は、本制度の『対象外』となります。そのため、入学後に振込依頼書が届いた際には、振込はしないでください。

(5) 参考:スケジュール

12 月	11/10(火): 申込フォーム入力および申請書類提出 11/17(火): スカラネット入力 11/24(火): 奨学金確認書兼地方税同意書郵送
11 月～2 月	-
3 月	3 月上旬: 選考結果通知(メール) 3 月下旬～4 月中旬: 書類配付
以下は本学の大学院に進学後	
4 月	4 月下旬: 採用候補者決定通知・進学届等 提出
5 月～6 月	5 月中旬: 奨学金初回振込 もしくは 6 月中旬: 奨学金初回振込 ※進学届入力時期によって、奨学金初回振込日の変動。

(6) 特に優れた業績による返還免除

- ・大学院で第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に在学している課程で特に優れた業績を挙げた人として機構が認定した場合に、貸与期間終了時に奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。
 - ・本制度には推薦枠があり、枠数については、毎年機構から大学に通知されます。枠があった場合は、以下のとおり案内します。
 - ▶業績による返還免除制度: 奨学金の満期または辞退により貸与が終了となる年度の 12 月頃
 - ▶返還免除内定制度: 9 月頃
 - ・申請者の選考は、文部科学省令で定める「業績の種類」と、機構貸与奨学規程に基づく「評価基準」を踏まえ、各大学院が設定する具体的な評価項目により行われます。
- なお、本学の評価項目は下表のとおりです。

【本学の評価項目】

	博士課程前期課程	博士課程 博士課程後期課程	返還免除内定制度申請者
評価項目	1. 学会発表	1. 学会発表	1. 学業成績
	2. 功績(学会賞等の受賞)	2. 功績(学会賞等の受賞)	—
	3. 論文	3. 論文	—
	4. 特論講義	5. 学論文発表	—
	5. 学論文発表	—	—

(7) 参考: シミュレーション

◆日本学生支援機構貸与型奨学金の利用を考えている場合は、以下シミュレーションをご活用ください。

※生計維持者は申込者本人及び配偶者の情報を入力してください。

※授業料後払い制度は第一種奨学金と同じ基準で審査されるため、第一種奨学金のシミュレーション内容を
目安にご検討ください。

①進学資金シミュレーター

奨学金を受けることができる年収の目安を確認できます。

<https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/aop>

①



②奨学金貸与・返還シミュレーション

貸与総額や毎月返還していく金額、返還が完了となる時期等を試算できます。

<https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/aog>

②

